



いよいよ平成26年度の始まりです。校庭の桜の花は、不順な天候にも耐え、新入生を迎えるまではと頑張ってくれているようにさえ思われます。

本年度は70名のピカピカの1年生を迎え、全校生徒466名でスタートしました。子どもたち一人ひとりの顔に、新しい学年での期待と意欲を強く感じました。

本年度も、「さわやかあいさつ あたたかいことば 読書がいっぱい 常盤小」のチャレンジ目標のもと、一人ひとりの子どもを大切にし、自己実現をめざして精一杯がんばります。

入学式の校長式辞で、保護者の皆様に次のようなお話をしました。

「・・・これから9年間の義務教育の始まりです。この間にお子様たちは自ら考え、自ら判断し、自ら行動できる人として成長していかなければなりません。そのためには、お子様たちの生活の原点である『家庭』がしっかりしないといけません。『家庭』とは『家』と『庭』と書きますが、『家』の『庭』にどんな花を咲かせるかにかかっていると思います。決して家の庭にお花を植えなさいといっているのではありません。庭のある家もない家もあるのですから・・・。わたしの言う『庭』とは『心の拠り所としての庭』を言っているのです。では、『家』の中にどんな『庭』を造って欲しいのかというと、『会話の花が咲く庭』・『笑いの花が咲く庭』を造って欲しいのです。言い換えると『談笑の絶えない庭づくり』なのです。原点の家庭が明るく、躰がきちんとしていれば、子どもたちの成長は絶対にぶれることはないのです。しかし、いくら原点がしっかりしていても、拠点である学校や地域が責任を果たしていないと子どもたちの成長に良い影響は与えません。ですから、家庭・学校・地域が役割と責任を自覚し、連携・協力し合いながら、三位一体で子どもたちの健やかな成長と人格の形成に力を注いでいきましょう。私たち全教職員は『チーム常盤小』で一丸となって取り組んでいきます。教育の種蒔き人として・・・。」

本年度もご協力・ご支援のほど、どうぞよろしくお願ひします。

「学校教育目標」と「めざす児童像」について

◎学校教育目標

たくましく生きる力と、夢や思いやりのある
人間性豊かな“ときわの子ども”の育成

めざす児童像

- 【美 し く】 正しいことに勇気を持ち、友だちに対して思いやりと温かさのある子ども → 「思いやりと温かさ」(徳)
- 【たくましく】 健康で明るく、苦しいときも、ねばり強くやり抜く子ども → 「元気とねばり強さ」(体)
- 【か し こ く】 筋道を立てて考え、創意工夫をこらし、正しい判断のできる子ども → 「考える力と判断力」(知)



『私が○○になったとき』

私が若い頃、読んだ詩を紹介します。この詩を読んで身が引き締まる思いがしたことを今でも覚えています。

『私が先生になったとき』

私が先生になったとき

自分が真理から目をそむけて、子どもたちに本当のことを語れるか。

私が先生になったとき

自分が未来から目をそむけて、子どもたちに明日のことが語れるか。

私が先生になったとき

自分が理想をもたないで、子どもたちにどうして夢が語れるか。

私が先生になったとき

自分に誇りを持たないで、子どもたちに胸を張れと言えるか。

私が先生になったとき

自分がスクラムの外にいて、子どもたちに仲良くしろと言えるか。

私が先生になったとき

自分の闘いから目をそむけて、どうして子どもたちに勇気を持てと言えるか。

ここで、『先生』を『親』に変換して読んでみてください。読んでみて、親としてどう感じられましたか？

大人って大変ですね。いつも子どもたちの模範とならなければいけません。水は、「高いところから低いところ」に流れます。しかし、人は『教育の力』によって「低いところから高いところ」に向かっていったからこそ、進化・発展してきたのだと思います。子どもたちが、将来、品格のある幸せな時代を築いていってくれるかどうかは、私たち大人のあり方が大きく影響してくると思います。

さて、『夢をはぐくむ家庭の元気』に『家庭教育5つのポイント』が示されてしまったので、ご紹介しておきます。

【家庭教育5つのポイント】

- ① 基本的な生活習慣を身につけましょう。
(子どもの健やかな成長の基礎づくり、家族みんなで生活習慣の確立を！)
- ② ルールやマナーを身につけましょう。
(大人の手本が、子どもへの大切なプレゼント！)
- ③ 家庭のふれあいを大切にしましょう。
(会話と笑顔の花が咲く庭づくり！)
- ④ 家庭での学習習慣を身につけましょう。
(学習意欲と学力向上は家庭での学習習慣が原点！)
- ⑤ 地域でいろいろな体験をしましょう。
(ふるさとへの関心や、人とのつながり、自然の大切さが学べます！)